

第 32 回 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会 議事要旨

1. 日 時：令和 7 年 8 月 22 日（金） 10:00～11:10
2. 場 所：よこはま新港合同庁舎 3F 会議室 A（一部 WEB 会議）
3. 要 旨：

- 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会規約の改正について報告した。
- 委員会の検討経緯と論点について報告した。
- 県内の交通状況の紹介について報告した。
- 令和 7 年度における主要渋滞箇所の見直し（解除）について報告した。
- 観光地における交通状況分析について報告した。
- TDM 実施モデル箇所を取組状況について報告した。
- 最新の取組状況の紹介について報告した。
- 道路交通に関するサービスレベル向上に向けた検討について報告した。

4. 議 事：

(1) 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会規約の改正について

- 意見無し。

(2) 委員会の検討経緯と論点について

- 意見無し。

(3) 県内の交通状況の紹介について

- 県内において、全国渋滞ワーストランキングの上位区間が多く、改めて課題意識をもった。（委員長）

(4) 令和 7 年度における主要渋滞箇所の見直し（解除）について

- 初声小学校入口交差点を主要渋滞箇所から解除することが了承された。

【意見】初声小学校入口交差点の国道 134 号上り方向流入部において、モニタリング指標①②が特定時から悪化傾向にあるが何故か。（委員長）

【回答】特定時からモニタリング評価区間として使用している DRM 区間が細分化され、評価区間が短縮されたことで特定時と条件が一部不一致している点が一因と考えられる。（事務局）

【意見】対策事業完了後、2 年連続モニタリング指標を満たす箇所について、関係団体へのヒアリング結果から解除候補とするのか。ヒアリング以外に、詳細分析等は実施する予定か。（相武国道事務所）

【回答】対策事業が完了または未実施で 2 年連続モニタリング指標を満たす箇所については、関係団体へ渋滞認識の有無をヒアリングする。1 団体のみ渋滞有りとして認識されている箇所については、詳細分析を実施したうえで、解除判定を行う。複数団体が渋滞認識をもっている場合は、経過観察とする。詳細分析結果より、渋滞状況がみられなければ、本委員会にて解除審議を実施する方針である。（事務局）

(5) 観光地における交通状況分析について

- 意見無し。

(6) TDM実施モデル箇所の取組状況について

【意見】(仮)大涌谷入口～大涌谷駐車場の区間において、9～16時台で速度低下が顕著であるが、要因は何か。(川崎国道事務所)

【回答】対象区間が山間部であり、勾配等の影響から速度低下に起因していることが考えられる。また、大涌谷駐車場の容量に対し需要過多であるため、入庫待ち車列が延伸している状況である。(事務局)

【意見】大涌谷駐車場の拡充等、対策検討は実施しているか。(川崎国道事務所)

【回答】駐車場の拡充は、観光地という性質上困難と考えている。駐車場料金改定による駐車場回転率の向上や「大涌谷パーク&ライド」のプロモーション強化等から、大涌谷周辺の渋滞緩和を図っている。(事務局)

【意見】インバウンド観光客向けに、各施策の周知は実施しているか。(相武国道事務所)

【回答】箱根DMO等が事業主体として、実施及び実施予定である。(事務局)

(7) 最新の取組状況の紹介について

【意見】カメラ観測について、2社の協力企業があるが、調査精度等の相違点はあるか。(委員長)

【回答】立山科学株式会社では、自社内で観測から解析まで実施し、その結果を自治体等へ提供することが可能である。Intelligence株式会社は、解析ソフトを自治体等へ提供し、自治体内での解析作業を可能としている。(横浜市)

【意見】映像撮影時において、画角等の制約はあるか。(委員長)

【回答】車両の重なり等から認識できない車両が一定数存在するため、可能な限り高所からの撮影が望ましい。(横浜市)

(8) 道路交通に関するサービスレベル向上に向けた検討について

- 道路交通に関するサービスレベル向上検討会(仮)の設立について了承された。

【意見】警察への概要説明は実施済みか。(委員長)

【回答】具体的な概要説明は未実施である。本委員会での設立の了承をもって、今後、随時実施する予定である。(事務局)

その他

【意見】主要渋滞箇所について、今後新たに追加特定する方針は検討しているか。(横浜市)

【回答】現時点では未検討である。(事務局)

以上